

令和 6 年 9 月 11 日（水）
災 害 対 策 室

令和 6 年度第 1 回板橋区健康づくり推進協議会

- 1 開会
- 2 委嘱状交付式
- 3 議題

令和 6 年度第 1 回板橋区健康づくり推進協議会議録（要約）

発言者	発言内容
秋下会長	それでは早速議事に入りたいと思います。 議題 1 「いたばし健康プラン後期行動計画2022（追補版含む）」の令和 5 年度進捗報告について」、事務局から説明をお願いいたします。
健康推進課長	資料 3 を用いて説明を行った。
秋下会長	令和 5 年度の進捗をご説明いただきましたが、全体を見ると総じて達成度が改善されており、計画に沿って実施できている点は大変良かったと思います。 1 点質問ですが、評価方法は他者評価ではなく自己評価になるのでしょうか。
健康推進課長	自己評価になります。
秋下会長	承知しました。それでは、各委員からご意見・ご質問等ありましたらお願いいたします。
小林委員	いたPay健幸ポイントについて、「従来ではアプローチが難しかった成人期に健康に関する情報を届ける」とのことですが、確認方法、情報を届ける方法はどのような形なのでしょうか。
健康推進課長	産業振興課で所管しているいたばしPayに、機能として健康部分を設けた形になりますので、健幸ポイント部分をダウンロードいただくことで確認ができます。 また、健幸ポイントをダウンロードいただいている方に対して、プッシュ

発言者	発言内容
	型で健康に関する情報を発信できる機能があります。
小林委員	成人期には健康に関する情報を届けることが難しく、我々も苦慮しています。要望になりますが、区と連携して歯科検診等の情報を発信させていただければと思います。
健康推進課長	歯科医師会様と連携した「歯科講演会」については、当アプリの機能を使い、情報発信をしております。 また、今年のトピックとしては熱中症対策がありまして、熱中症に関するクイズを発信し、閲覧者にポイントを付与するといった使い方にも挑戦しております。
佐藤委員	健（検）診を受けに行ったらポイントを付与するような仕組みはいかがでしょうか。
健康推進課長	健（検）診事業と健幸ポイントを連動させることは予防の観点から効果が非常に高いと思われるため、仕組みを検討しているところです。
秋下会長	健（検）診ですと、医師会長はいかがでしょうか。
齋藤委員	健（検）診受診にインセンティブをつけるということは、健（検）診に興味を持っていただく1つの手段として非常に良いと思います。 ただ、こうした事業は補助金等の兼ね合いから継続が困難になる場合もあるかと思いますが、区民の方が興味を持った事業については是非とも継続していただくことが大事かと思いますが、よろしくお願いします。
健康推進課長	当事業については、区の経費で調整しておりますので、皆さまに長期間使っていただけるように、質・量を含め、改善していきます。
祢津委員	出張ゲートキーパー研修の令和5年度実績は何件でしょうか。
健康推進課長	令和5年度は6件のお申し込みをいただき、186名の方に受講いただきました。
畑委員	2点あります。 1点目ですが、高齢者のいたPay健幸ポイント利用状況はいかがでしょうか。

発言者	発言内容
健康推進課長	2点目は、事業評価の件です。事業達成度が良いのは喜ばしいのですが、区民健康意識調査を用いて、事業効果判定をしっかりとやっていただきたい。どの事業にどのような効果があったか、という評価をお願いします。 いたPay健幸ポイントの高齢者利用状況ですが、約4,000人の方にお使いいただいています。高齢者の方にも使っていただきたいので、他部署が実施している「スマートフォンの使い方教室」内でいたPay健幸ポイントを紹介していただく等の取組を進めております。 計画の効果測定ですが、おっしゃるとおり自己評価になっており、課題であると認識しております。今後、次期計画を策定していく中で評価につながる仕組みを検討していきたいと思います。
秋下会長	事業の実施状況等に関する感想を、区民公募委員の方からいただきたいと思いますが、本多委員はいかがでしょうか。
本多委員	いたPay健幸ポイントをはじめとして、手広く実施しているということを理解できました。 私はアプリ開発もしており、アプリ開発の際、周知活動やアプリを利用してもらうことが難しいという理由で開発が中止になったりすることがありますが、いたPay健幸ポイントの場合はいかがでしょうか。 また、利用について、高齢世代に今後焦点を当てていくということについて、区はどのようにお考えでしょうか。
健康推進課長	国の調査によると、高齢者のスマートフォン保有率は高まってきている状況ではありますが、まだ発展途中の段階だと思います。 今後も「スマートフォンの使い方教室」等での周知を継続していき、いたPay健幸ポイントを浸透させていただきたいと考えております。
横田委員	高齢者が簡単に操作できるようなマニュアルを整備していただけると良いと思います。
秋下会長	重要なお指摘です。これは、いたばしPayやいたPay健幸ポイントのあり方ということで、宿題かと思います。
本多委員	他の決済サービスの利便性を排してまでいたばしPayを使うメリットはどのようなものなのでしょうか。

発言者	発言内容
健康推進課長	いたばしPay自体は産業振興課が所管しているのですが、区内商店街でのポイント還元等によって板橋区内に人を呼び込むという、産業活性化が狙いの事業になります。
祢津委員	項番5「総評」について、ICT活用やDX化だけでなく、対面方式も併用して事業を推進していくことを加筆してはいかがでしょうか。
健康推進課長	いただいた方向で加筆修正を行います。 コロナ禍を期にICT活用やDX化が進んだということはあると思いますが、対面方式を排して完全に移行することはせず、様々な方法を残しつつ多くの世代の方が健康増進に取り組めるように施策・事業を進めてまいります。
笹原委員	いたばしPayについては偶数月のポイント還元を期として新たな店舗に行けるという点が良いと思います。 また、区の事業以外でもいたばしPayの利用を推進出来るようにすれば、利用者がより増えると思います。 あと、評価については、自己評価だけでなく区民評価についても今後知りたいと思います。
秋下会長	笹原委員の発言にも関連しますが、例えば体操に来た方に対してスマホの利用方法を教えたり、健幸ポイントを付与するといった仕組みを取り入れることで、参加者がより増えるということも考えられます。 次は議題2「出張ゲートキーパー研修について」事務局から説明をお願いします。
健康推進課長	資料4を用いて説明を行った。
秋下会長	この事業に携わっていらっしゃる西村委員から補足等ありましたらお願いします。
西村委員	ゲートキーパーは身近な方がなっていくのが一番効果的ですが、困難な時は専門の支援者に頼っていただくのが良いです。 一方で、支援に際して支援者自身も対応に困っているケースもあるかと思っています。この研修は、一般の方から専門の支援者まで、どんな方でもお申し込みいただけます。令和5年度は民生委員の方や一般の方が多かったのですが、専門職の方の研修もやっております。

発言者	発言内容
	また、最近の自殺未遂者支援では、こどもの支援が増加しており、学校との連携が非常に大事になっていると感じていますので、学校の先生方でも興味のある方がいらっしゃいましたら是非ご利用いただければと思います。
秋下会長	学校での問題という点で、ぜひ中学校長会の武田委員にご意見等頂ければと思いますが、いかがでしょうか。
武田委員	生徒に寄り添いたい反面で、追い込む立場にもなってしまう可能性がある等、学校現場での教員の立ち位置が非常に難しいところです。気を付ける点等を学ぶ機会には是非必要だと思いますので、興味を持った方が集まったところで研修を受けられる体制を作っていけたらと考えています。
秋下会長	教員の方々は大変忙しいと思いますが、是非ゲートキーパーが出来る方を増やしていただけたらと思います。
佐藤委員	ゲートキーパー研修を受講した方は、普段の生活の中で学んだことを活かすのでしょうか。それとも、登録制をとっているのでしょうか。
西村委員	登録制ではありませんので、受講者の皆様がご活躍されている場で活かしていただければと思います。内容としては、即座の対応が必要な人たちだけの話ではなく、普段から気を付けること等も含んでおりますので、普段の活動内でご活用いただけるような内容になっております。
佐藤委員	そうしますと、学校の先生も普段の教育の中で子どもたちを見ながら、ゲートキーパーの知識を基にして、子どもたちと接するということが十分だということですね。ありがとうございます。
秋下会長	私も、このゲートキーパーは認定制度が無いのかと気になっていたのですが、これは認定制度等といった敷居の高いものではなく、あくまで勉強であって、学んだことを活かす方法はその人次第であるということです。そうでないとむしろ受講のハードルが上がってしまい、受講忌避に繋がってしまいます。
佐藤委員	医師会で実施するというのはいかがでしょうか。
齋藤委員	5名以上という条件ですと調整が難しいかもしれませんが、機会があれば

発言者	発言内容
	実施していきたいと思います。
秋下会長	研修時間が2～3時間とありますが、もう少し短くしても大丈夫なのでしょうか。
西村委員	1時間で実施する等短くすることは可能ですが、3時間程度であればロールプレイを実施でき、全く違う気付きが出てきますので、その方がやりがいがあると感じています。
兼板委員	参加者の方の感想はいかがでしょうか。
こころといのちの係長	「聞く姿勢や相槌の打ち方を意識して来なかったが、改めて気づかされた」といった感想や「少し難しい」といった感想がありました。 また、「まず声掛けを出来るようにしたいが、傾聴等は難しい」という感想もありましたが、「ゲートキーパーは傾聴やつなぎといった、すべての行動が出来なくても大丈夫」という話を講師からいただいたことでご納得されている方もいらっしゃいました。
横田委員	板橋区は自殺者が多いということでしたが、在住の方以外も数字に含まれているのでしょうか。
西村委員	計上対象は在住の方になります。
横田委員	ゲートキーパーとして対応が難しくなった時は、いずれかの支援機関につないでも良いのでしょうか。
健康推進課長	年中無休の電話相談や自殺防止センター等がありますし、板橋区の健康福祉センターでも心身の相談を常に受付けています。相談窓口をまとめたパンフレット等も作っておりますので、啓発をしっかりやっていきたいと思っています。
横田委員	困った時の繋ぎ先があれば、ゲートキーパーになりやすいと思います。
こころといのちの係長	健康福祉センターでは心の相談を受け付けている保健師が多数おりますので、ゲートキーパーとしてお話を聞いていて困った際は是非ご相談いただければと思います。

発言者	発言内容
笹原委員	チラシを見て興味を持ったのですが、チラシに載っている言葉が重々しいので、受講が難しいのでは、と感じました。表現をもう少し柔らかくしていただければ取り組みやすいと思います。
秋下会長	表現のトーンを落とした方が一般の方が参加しやすいと思いますので、ご検討いただければと思います。
健康推進課長	続きまして、議題3「『板橋区女性健康支援センター』令和5年度の事業実績及び令和6年度の取組状況について」事務局から説明をお願いします。
秋下会長	資料5を用いて説明を行った。 国では今年度にやっと「女性の健康ナショナルセンター」が国立成育医療研究センター内に出来た状況ですので、板橋区女性健康支援センターが17年目を迎えたことは素晴らしいと思いますが、ご意見・ご質問等ありますでしょうか。佐藤委員は産婦人科としていかがでしょうか。
佐藤委員	女性健康支援センター設置以来、1人あたり約30分の相談を約2時間行うということを月に1回行っております。様々な方が相談にいらっしゃいますが、「きちんと婦人科に行くべき」という方が多い印象を受けます。また、専門科に行くにあたって敷居が高いと感じてまず相談にいらっしゃった方のかかりつけ医に行くよう促すといったことをしております。
秋下会長	大変重要な役割を担っておられると思います。 続きまして、議題4「その他」に移りたいと思います。全体を通してご意見・ご質問等ございましたらお願いします。
小林委員	医療的ケア児の歯科検診に関する要望です。1歳6か月歯科健診や3歳児健診は健康福祉センターに来庁しないと受診出来ないシステムですが、医療的ケア児の方は訪問以外に手段がありません。人数はあまり多くありませんが、そういった方々が法律で認められる権利を受けられない状態が続いております。これは政府の問題ではありますが、今般医療的ケア児支援法が制定される等状況が変わってきておりますので、是非ご検討いただきたいという要望です。よろしくお願いします。
秋下会長	区としてどう対応するのかということについてご検討いただければと思い

発言者	発言内容
健康推進課長	ます。 他はいかがでしょうか。特に無いようですので、本日の協議会を終了します。最後に事務局から閉会の挨拶をお願いします。 本日はお忙しいところ長時間熱心にご審議、ご議論いただきありがとうございました。今日は貴重なご意見やご要望をいただいておりますので、その中身について、これから策定を進めてまいります新しいプランの事業等にも反映していけるように頑張ってみりたいと思います。 なお、次回の協議会は年明けの令和7年1月～2月頃に開催を予定しておりますが、新しいプランの策定方針を議論させていただく予定ですので、よろしくをお願いします。今日はありがとうございました。